

平成27年 7 月 16 日

各 位

会社名 株式会社メディビックグループ
代表者名 代表取締役社長 窪島 肇
(コード番号 2369 : 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 疋田 賢司
(Tel: 03-5439-9691)

株式会社Xenlonとの業務提携に関するお知らせ

当社100%連結子会社である株式会社アニマルステムセル(以下アニマル社という。)は、平成27年 7 月 16 日開催の取締役会において、株式会社Xenlon (以下Xenlon社という。)との間で競走馬及び競技乗馬に対する再生医療について業務提携を行うことを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業務提携の理由

アニマル社は、再生医療、幹細胞培養の技術開発をもとに事業を展開しております。従来の犬など伴侶動物で培った再生医療技術を、今後は競走馬及び競技乗馬における再生医療に活用する事業を展開していく予定であります。

現在競走馬は、世界で毎年約 9 万頭が生産されており、主な生産国はアメリカ、オーストラリア、ヨーロッパ諸国となっており、日本国内では約 7 千頭が生産されています。

(International Federation of Horseracing Authorities: IFHA, Annual Report 2013.)

国内動物用医薬品産業の市場規模は約 1,200 億円で、そのうち競走馬を含む産業動物用は、約 600 億円の市場規模となっています。(Ashley Yeo : Return to growth for leading players and global marketAnimal Pharm' s ranking of top animal health manufacturers in 2010, Animal Pharm (2011))

世界での競走馬以外の乗馬用途等を含めた全体の年間維持頭数は約 6 千万頭を数え、日本国内では約 8 万頭となっています。

競走馬には、骨折や屈腱炎などの運動器疾患や、喘鳴症などの神経疾患など、年間登録頭数約 7 千頭のおよそ 10%程度に競走能力に影響をきたし、かつ既存療法では治療が困難な病気やケガがあり、現状では長期の治療・リハビリテーションが必要で高額な費用がかかっています。

アニマル社では、既に競走馬より採取された組織から多能性を有する細胞を分離・培養する技術を確立しており、またヒトや小動物に比べ平均体重が約 500Kg と大きい競走馬向けに、大量の均一な細胞を培養する手法も確立しております。また、これまで Xenlon 社

との共同研究において、既存療法では治療が困難な競走馬に対し、再生医療技術の安全性・有効性の技術評価を行ってまいりました。競走馬市場における再生医療の事業収益性・成長性・当社他事業とのシナジー・事業リスク等を検証の上、今後の事業化を決定いたしました。

Xenlon 社の代表取締役は、自身も複数の競走馬を日本中央競馬会に登録していることから、アニマル社ではアプローチの難しい、競馬界や業界関係者・顧客との接点を有しております。競走馬は血統管理が厳しく、競走馬の脂肪組織を入手するルートをアニマル社では持ち合わせていなかったため、Xenlon 社代表取締役協力のもと、脂肪組織の採取および投与対象の疾患競走馬を提供いただく形で、これまで共同で研究を進めてまいりました。これまでの共同研究により、競走馬において難治性疾患である屈腱炎、喘鳴症などで有効性を確認しており、Xenlon 社ではこの共同研究において実証されたデータをもとに、「発明名称：幹細胞投与方法、および競走馬の症状改善方法、特願 2015-122375/2015-122376/2015-122377」の3項目の関連特許を既に申請しており、今後独自の競馬・乗馬競技領域での業界関係者への再生医療技術紹介・対象疾患馬の収集・投与などの営業展開を国内外に行ってまいります。

アニマル社の技術と、Xenlon 社の特許や競馬界との接点をベースに、競走馬及び競技乗馬向け市場における再生医療の普及と、今後の収益向上の基盤を構築してまいります。

2. 業務提携の内容

Xenlon 社は、コンサルティング事業、クロスメディア（携帯・PC・アプリ）コンテンツのライセンス提供事業、オンラインメディアのプラットフォームサービスの企画事業、障がい者向け乗馬及びホースセラピー事業支援、再生医療、幹細胞培養の技術評価協力、開発、販売を手掛けております。

今回、当社グループとの連携により、Xenlon 社では、再生医療技術・細胞加工技術を用いての競走馬及び競技乗馬向け再生医療事業を開始いたします。

当社グループは、Xenlon 社から再生医療における細胞分離・培養・品質管理の事業を請負い、競走馬に対する難治性疾患の治療法開発について、引き続き共同開発を行ってまいります。

当社グループの再生医療研究・開発力と Xenlon 社の特許や競馬界との接点による顧客開拓により、競走馬及び競技乗馬向け市場における、再生医療の確立と両社の事業拡大を実現してまいります。

3. 子会社の概要

① 名 称	株式会社アニマルステムセル
② 所 在 地	東京都小金井市中町二丁目 24 番 16 号
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役 窪島 肇
④ 事 業 内 容	再生医療事業、細胞培養事業
⑤ 資 本 金	60 百万円

4. 業務提携先の会社概要

① 名 称	株式会社 Xenlon	
② 所 在 地	東京都品川区東五反田二丁目3番3号	
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役 小林仁幸	
④ 事 業 内 容	コンサルティング事業、サイト運営、新規技術開発、 クロスメディア(携帯・PC・アプリ)コンテンツのライセンス提供、 オンラインメディアのプラットフォームサービスの企画・提供、 ネットコミュニケーション支援サービスの企画・提供 障がい者向け乗馬及びホースセラピー事業支援、 再生医療、幹細胞培養の技術開発協力、販売支援	
⑤ 資 本 金	10 百万円	
⑥ 設 立 年 月 日	平成元年6月23日	
⑦ 発 行 済 株 式 数	3,200 株	
⑧ 大株主及び持株比率	小林 仁幸 86.25%	
⑨ 上場会社と当該会社 の間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への 該当状況	該当事項はありません。

※最近3年間の経営成績及び財政状態につきましては、当社としまして開示を依頼しましたが、先方の要望により情報開示されていないため記載いたしておりません。

5. 業務提携の日程

取締役会決議	平成27年7月16日
業務提携契約締結	平成27年7月16日
事業開始日	平成27年7月16日

6. 今後の見通し

Xenlon社との業務提携に伴い、当社グループが再生医療技術の提供を行うことで、中長期的に当社グループの業績の向上に寄与するものと考えておりますが、現状において収益が計上される時期は未確定であることから、平成27年12月期の業績に与える影響は現在においては未定であります。今後、個別のサービス展開の進捗に応じて、適宜開示してまいります。今後詳細が確定次第ご報告いたします。

以 上